

議会報告会での意見・提言への対応について

意見・提言項目	対応する委員会等	対応結果
<p>さつきバスのルート変更になり、ヨシズヤで乗り換えなければならない。これまでのようにアーラや福祉センターへ行くルートに戻してほしい。一部にかなりひどいバスがある（ブザーがない、ステップない）。</p>	<p>総務企画委員会</p>	<p>公共交通を担当する総務企画委員会において担当課に対して、議会報告会での質問について伝え、下記の回答を確認いたしました。</p> <p>ルート変更について</p> <p>昨年10月の路線やダイヤの見直しにより中心部の市役所、駅、大規模な病院、スーパーなど利用目的の多いところを結ぶ中心循環線を新たに設け、各地区からは直線的に市の中心部へと向かう路線とした。このため、アーラは中心循環線に対応している。西部線については、中心部へ向かうコースとして西可児駅から若葉台を通り、坂戸からヨシズヤ、パロー、東可児病院を經由し、市役所に向かうルートになっている。路線決定にあたっては、従来の西部線の路線上にあった今渡の鳴子周辺での利用が大変低かったことから、以前のルート上にあったアーラなどには直接行かなくなった。また、今回の見直しで皆さんに利用していただきやすいよう、1便目は病院、2便目はスーパーの時間に合わせたものとしており、乗り換えなしで行っていただけるようにしている。日常的には利用頻度が低い場合でも、乗り換えにより目的地には行けるよう乗り換え時間を合わせたダイヤ構成としている。</p> <p>さつきバスの車両状態について</p> <p>バス車両については、保有の5台のうち、平成12年のものが3台（1台故障中）あり、更新が必要として、とりあえず2台のリース料を今年度予算に計上しています。これにより不評の多い乗り心地などについては改善されると考えます。ご不便をおかけいたしますが、もうしばらくお待ちください。</p>
<p>ポイント制度ではボランティアの増加を目的にしているのか。すでにボランティアをしている方々にポイントを付与することに</p>	<p>建設市民委員会</p>	<p>予算審査の際にも、同様の質問を担当課に対して行っており、十分配慮しながらやっていくとの回答を得ています。議会としても新規事業とい</p>

<p>なるのではないか。この制度を推進することにより、ボランティアを強制されるような雰囲気を作ることにならないか。十分注意をしてほしい。</p>		<p>うこともあり、9月に開催した委員会でも進捗状況を確認するなど注視しているところです。</p>
<p>空き家になる前の対策について、娘や息子などその家族が可児市に移り住んでいただくことが必要と考え、そのために今後の生活プランを考え、「可児市に移住したらこんなことがある」など小さなことから始めたらよいと思いました。</p>	<p>建設市民委員会</p>	<p>可児市は「若い世代が住みたいと思えるまちの創造」を目標に様々な施策を講じており、今後空き家対策の条例を制定した議会としても、今後注視していきます。</p>
<p>議会報告会で今後、気を付けることとして、カタカナとか英語の言葉を使っていますが、カタカナとか英語の言葉を使うときには、必ず日本語訳で、特に大和言葉で日本語訳を付けるとよいと思います。</p>	<p>議会報告会実施会議</p>	<p>資料作成の際に参考にさせていただきます。</p>